

【第5回】 Afterコロナ、DX推進は“ニアショア”時代？

学校



製造業



設備業

DXビジネス変革コミュニティ

Webサイト (<https://dxcom.biz>)
共同代表：藤井新吾、竹井俊文

「学び」の場・「課題解決」の場

- ・セミナー・パネルディスカッション
- ・産学連携(DX講座, DX研究)

通信事業者



サービス業



ベンダー



業界団体



Slur

「DX推進」に関わる法人、個人

過去のオンラインセミナー・パネルディスカッション

第1回 (2022.1.27 木 19:00-20:30)

テーマ：自社で進めているDXと世間で言われている
ーDXに乖離があるって、ホント？ー

第2回 (2022.3.31 木 19:00-20:30)

テーマ：アフターコロナ、テレワークはようになる？…
ーDXの分岐点かもー

第3回 (2022.6.9 木 17:30-19:00)

テーマ：DXの技術と実践、どうやって学んでますか？
ースキルアップの「大きな壁」、どう越える？ー

第4回 (2022.11.11 金 17:30-19:00)

テーマ：産学連携によるDX推進の可能性
ー設備業DXのケースー

第5回 Afterコロナ、DX推進は“ニアショア”時代？ — DXニアショアラボのご紹介 —

【1部】インプットトーク 17:30-18:10 (40分)

1. 今、DXのニアショア/内製が求められている (15分)

DXビジネス変革コミュニティ 共同代表 竹井俊文

2. GVA「DXニアショアラボ」のご紹介 (25分)

グローバルベンチャー協会 理事長 上嶋 茂

【2部】パネルディスカッション 18:10-19:00 (50分)

パネリスト：グローバルベンチャー協会 理事長 上嶋 茂

PMI日本支部理事, SMC 藤井新吾、技術士(総合技術管理), SMC 長野 聡

コーディネータ：竹井俊文

1. Afterコロナ、DX推進 (DX業務支援) は“ニアショア”時代？

(上嶋理事長を囲んで — GVA「DXニアショアラボ」についての質疑応答)

2. DXをどうやって、うまく、確実に、前に進めればよいのか？

(キーワード：アジャイル開発、品質と安全リスク、人材確保、産学連携、ベンチャー)

3. モバイルシステム技術テキスト[エキスパート編]最新版のご紹介 (アジャイル等)

今、DXのニアショア / 内製 が求められている

— Afterコロナ、DXを始める企業が増えてくる —



DXビジネス変革コミュニティ 共同代表

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

上席顧問、シニアモバイルシステムコンサルタント

グローバルベンチャー協会

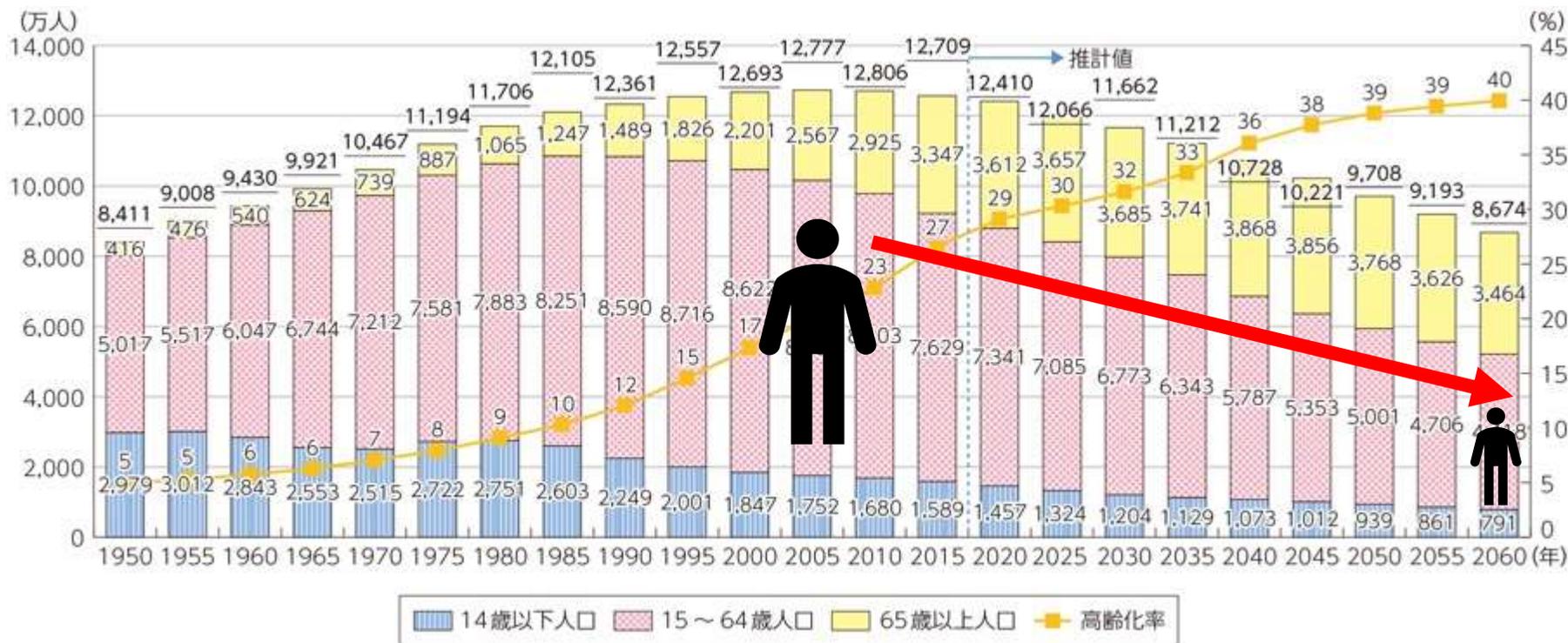
理事 兼 DX(デジタル化)部会長

徳島大学非常勤講師、国士舘大学非常勤講師

竹井 俊文

ビジネス変革

AI&ロボット に仕事をしてもらわないと困る！



我が国の人口の推移

総人口は2030年には1億1,662万人、2060年には8,674万人（2010年人口の32.3%減）にまで減少すると見込まれている。**生産年齢人口**は2030年には6,773万人、**2060年**には4,418万人（同**45.9%減**）にまで減少すると見込まれている。

（出典）総務省 情報通信白書29年度版

© 2023 Toshifumi Takei

少子高齢化

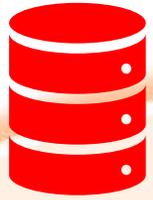
による 深刻な

人手不足

人間でないとできない
仕事が停滞！

世界との競争力の低下

新たな産業革命 = DX



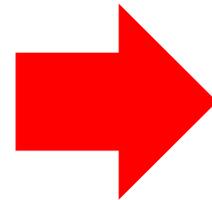
新たな資源
「ビッグデータ」



食わせる



新たなデジタル技術
・労働力
「AI・ロボット」

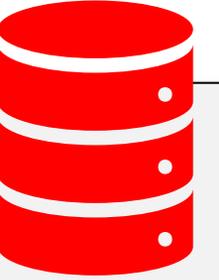


あらゆるモノやヒトは
——時々刻々、変化している。
それを、スマホとセンサで捉え、
通信ネットワークで運び、
データベース化する…

今まで出来なかった

「ビジネス課題解決」
「新ビジネス創造」

あらゆるヒトやモノの変化⇒ビッグデータ



- **位置情報**

(行動履歴、接触履歴、走行履歴、航行履歴、飛行履歴など)

- **発信情報**

(画像、動画、音声、文字、観測値、測定値など)

- **状態変化**

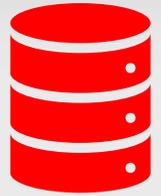
(健康、病気、正常稼働、異常稼働、故障、経営、気象、災害など)

- **経年変化**

(成長、老化、劣化、衰退、環境、社会、経済、地球温暖化など)

デジタル化 と CPS (Cyber-Physical System)

サイバー空間 (仮想空間)



ビッグデータ

デジタルツイン

デジタル (動画・画像・音響・文字・Excel)

IoT (センサ)

変化する情報

アナログ (ヒト・モノ・ビジネス)

フィジカル空間 (現実空間)



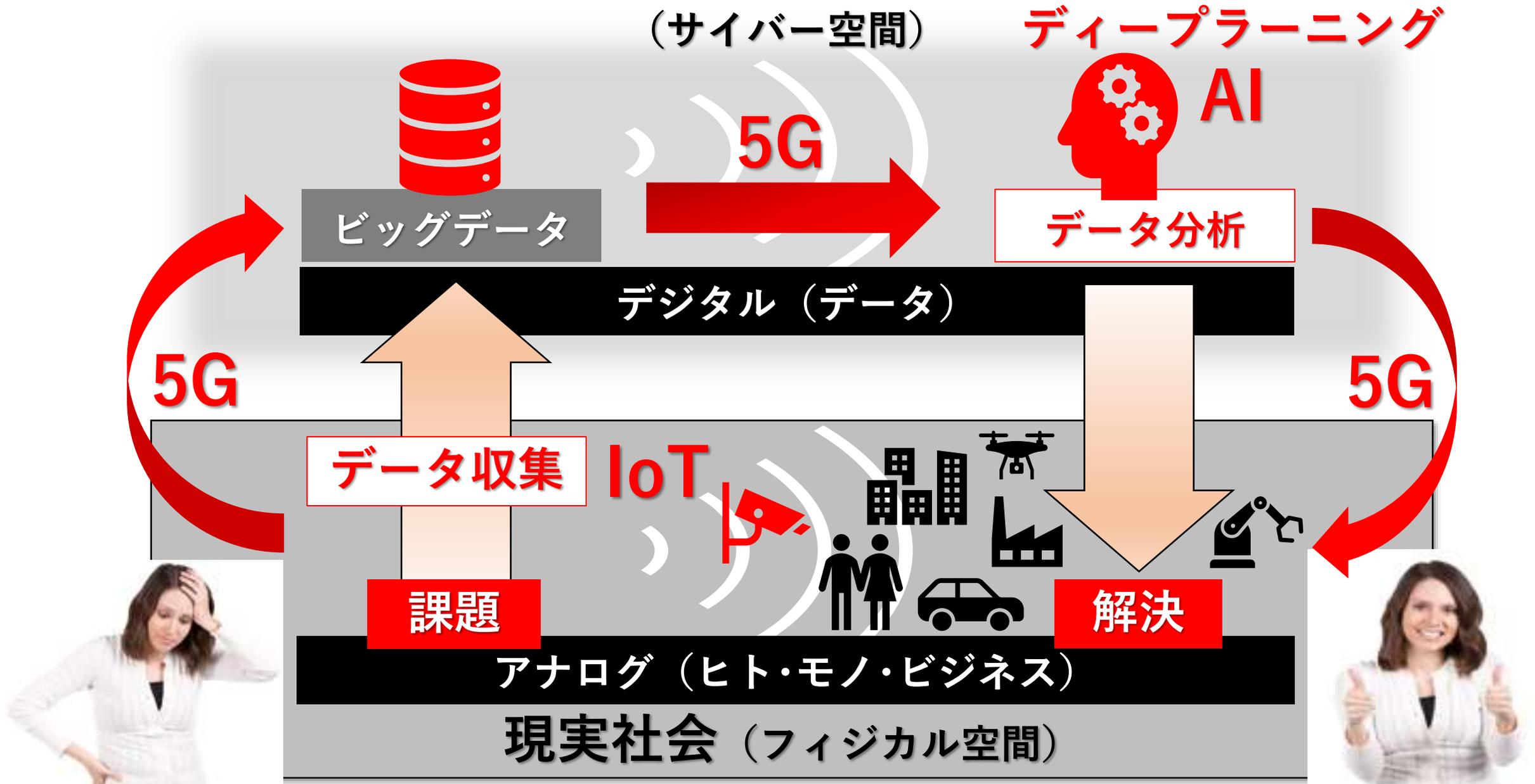
クラウド



ネットワーク
(公衆網/自営網)



DX：データ駆動(ドリブン)型ビジネス変革



DX：ニーズとデジタル技術⇒ビジネス変革

少子高齢化

コロナ禍

グローバル競争の激化

人手不足

ニューノーマル

ニーズ
(課題解決, 新価値創造)

製品、サービス
ビジネスモデル

5G

IoT

AI

ビッグデータ

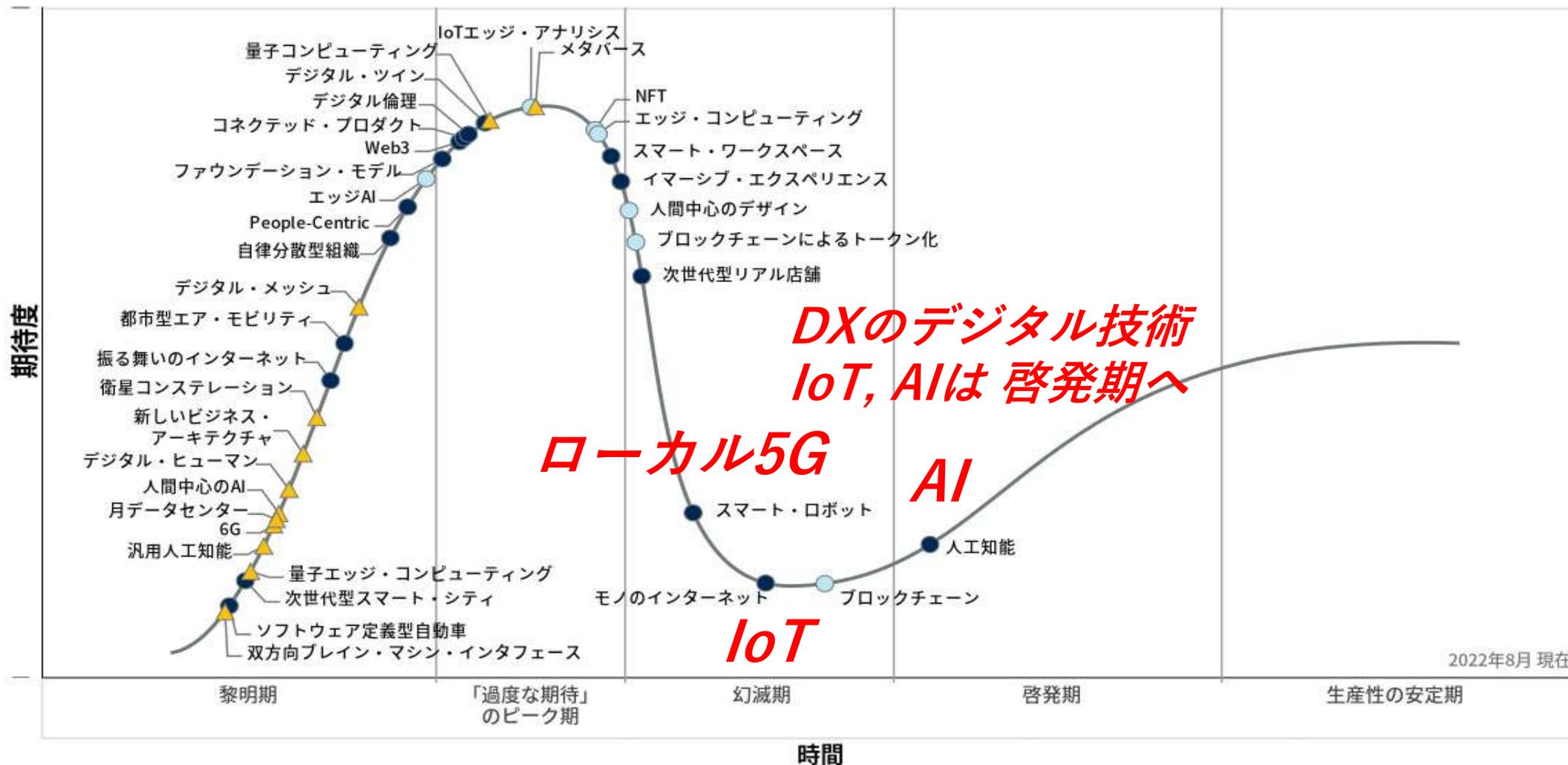
デジタル技術

業務プロセス
組織、企業文化

ビジネス変革

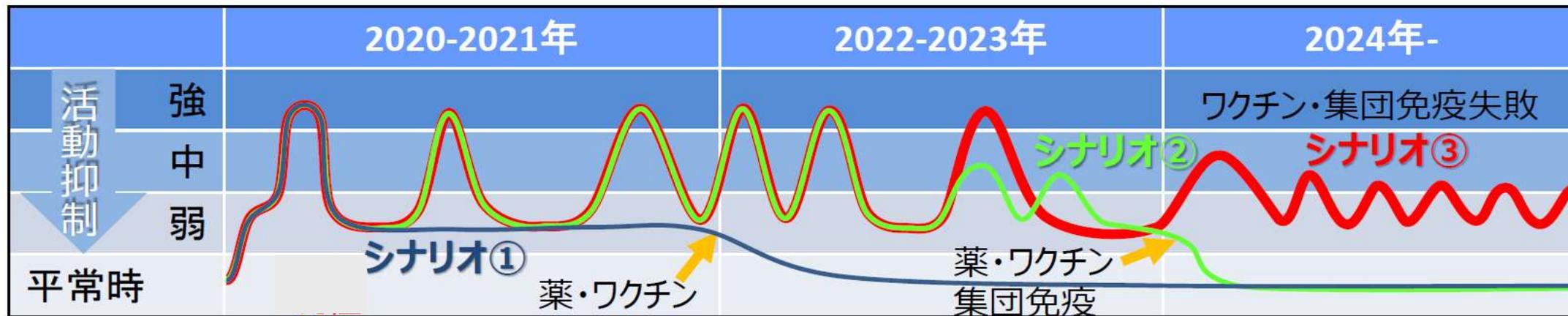
デジタル技術の進化 ⇒ DXを始める企業が増えてくる

日本における未来志向型インフラ・テクノロジーのハイプ・サイクル：2022年



(出典) Gartner (2022年9月) 図中の斜字は筆者による

DX : Afterコロナ、どうなる？



(出典) 新エネルギー・産業技術総合開発機 (NEDO) 技術戦略研究センター資料「コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像」

ビフォアコロナ

主観的な予測

現在

ウィズコロナ

(緊急事態宣言の発出：テレワークの要請)

ウィズコロナにおいて観測された事象

アフターコロナ

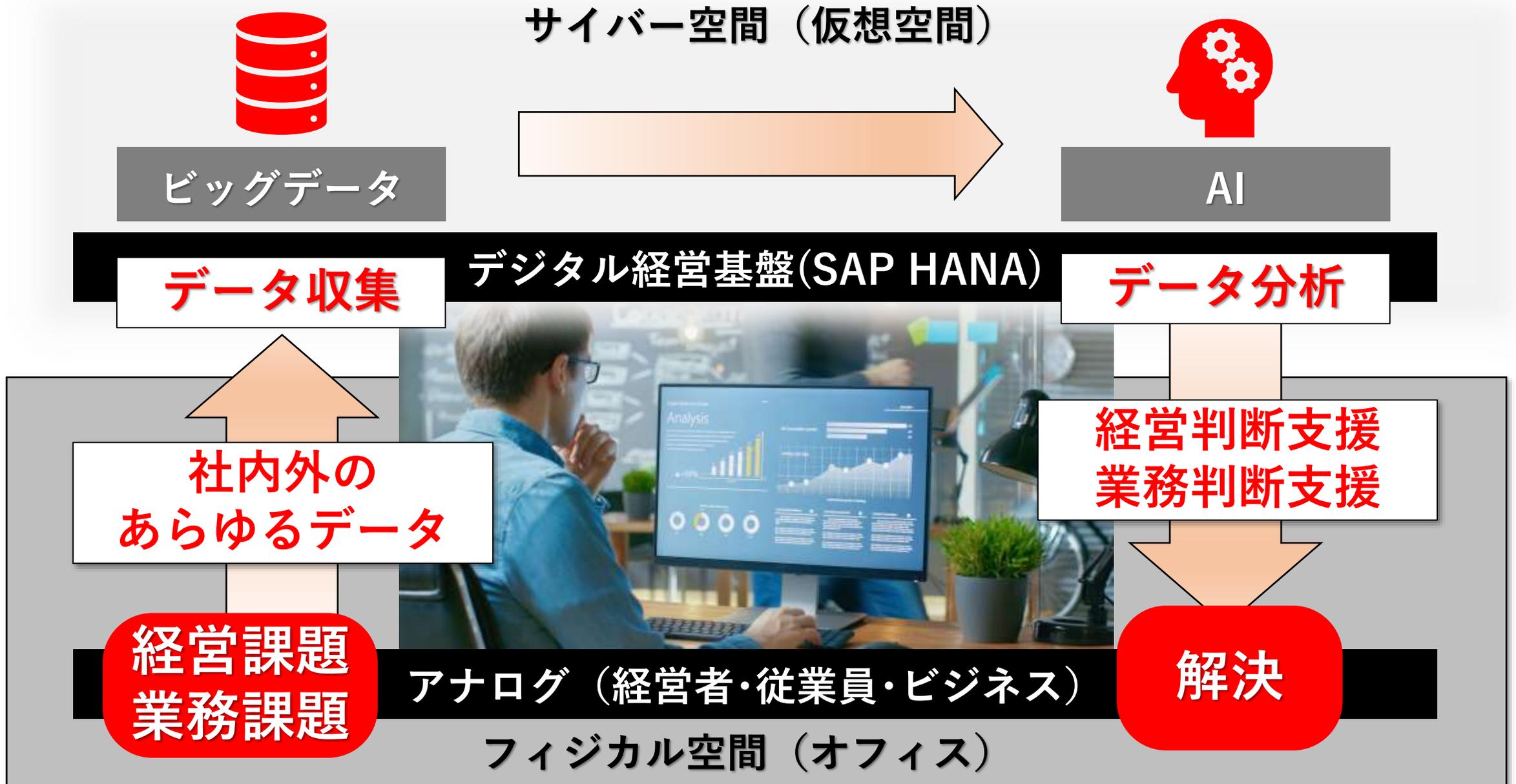
アフターウクライナ

起こるかもしれない事象

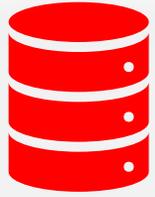
オフィス
工場, 病院
工事現場
農業, 店舗
学校, 他

- ・ 4K/8K 超高精細映像による リモートワーク が進展？
- ・ 10G 超高速 光網の整備、ローカル5G の本格導入？
- ・ IoT, AI & ロボットによる スマート〇〇化 が進展？
- ・ VR/AR, メタバース による オンライン化 が進展？

企業DX：経営・業務のデジタル化による課題解決



製造業DX：工場のデジタル化による課題解決



ビッグデータ

サイバー空間（仮想空間）



AI

データ収集

製造工場のデジタル基盤

データ分析

機械部品画像
製品画像

異常検知
不良品排除

予知保全
外観検査
課題

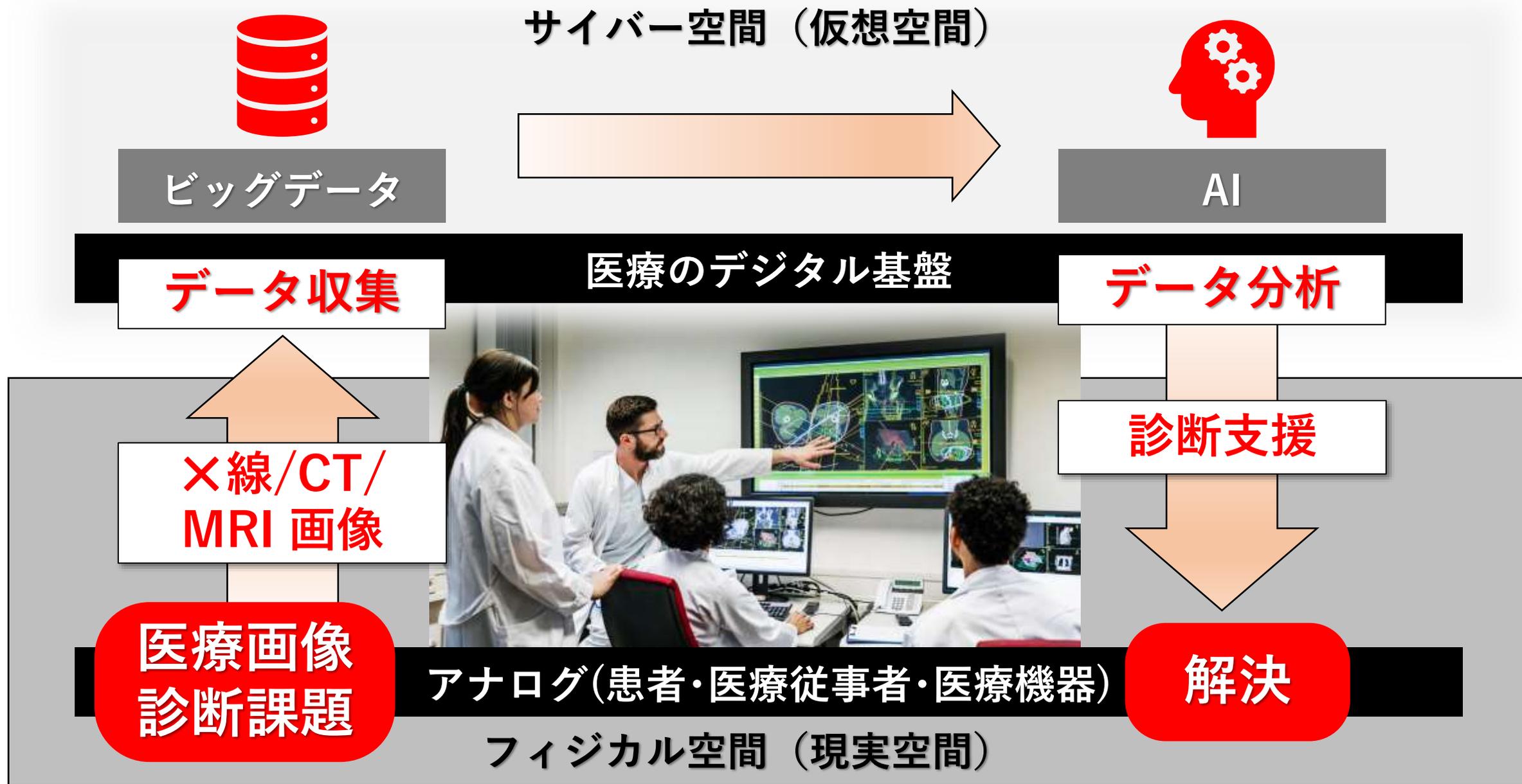
アナログ（作業員・工作機械・製品）

フィジカル空間（工場）

解決



医療DX：病院のデジタル化による課題解決



DX を始める にしても、
データ収集・分析 のための

デジタル基盤 が必要

開発 どうする？…

開発：オフショア, ニアショア, オンショア(内製)の違い

言葉と文化の壁



ベトナム



豊富な人材

オフショア

オフショア

ショア
(岸=陸)

オンショア

少子高齢化
による
人材不足

ニアショア

インド



海外(外国)

(地方)



国内

(地方)



ニアショア

(大都市)



DX：データの高価値化 ⇒ ニアショア/内製化が求められる

オフショアやニアショア
など 外部へ丸投げ



データ

ディープラーニング
が生み出す 新価値
機密情報, 個人情報

DX人材 がない
ため 失敗のリスク

情報漏えいリスク



DX人材 & アジャイルによる
業務プロセス変革

ニアショア/内製

かといって、内製化は難しい
そこで、今回のテーマは…

**Afterコロナ、DX推進は
“ニアショア”時代？**

Afterコロナ、DX推進は“ニアショア”時代？ — DXニアショアラボのご紹介 —

【1部】インプットトーク 17:30-18:10 (40分)

1. 今、DXのニアショア/内製が求められている (15分)

DXビジネス変革コミュニティ 共同代表 竹井俊文

2. GVA「DXニアショアラボ」のご紹介 (25分)

グローバルベンチャー協会 理事長 上嶋 茂

【2部】パネルディスカッション 18:10-19:00 (50分)

パネリスト：グローバルベンチャー協会 理事長 上嶋 茂

PMI日本支部理事, SMC 藤井新吾、技術士(総合技術管理), SMC 長野 聡

コーディネータ：竹井俊文

1. Afterコロナ、DX推進 (DX業務支援) は“ニアショア”時代？

(上嶋理事長を囲んで — GVA「DXニアショアラボ」についての質疑応答)

2. DXをどうやって、うまく、確実に、前に進めればよいのか？

(キーワード：アジャイル開発、品質と安全リスク、人材確保、産学連携、ベンチャー)

3. モバイルシステム技術テキスト[エキスパート編]最新版のご紹介 (アジャイル等)

ご講演のテーマ：GVA「DXニアショアラボ」のご紹介

講師：上嶋茂（うえじましげる）様のプロフィール

早稲田大学院ファイナンス研究科卒。ファイナンスMBA。
金融工学やAIを活用した金融システム、流通システム、ERMリスク管理システムのコンサルティングおよび開発保守を手がける。
また、ビジネス変革を希望する企業のデジタル化支援を行う。

20年間にわたり、ITビジネススクールを運営し、5000人以上のITエンジニアの育成とデジタル人財および経営人財の育成を行う。
また、ベンチャー企業への投資と事業再生ならびにM&Aを手がける。

現在は、観光・飲食・IT・流通企業などの経営を行う。

一般社団法人グローバル・ベンチャー協会（GVA）理事長。

(株)うえじま企画／(株)UKnet／(株)オープンシステムソリューションズ
／(株)地方総合研究所／(株)うえじまインベストメント 代表取締役。

(株)水生の庄（みぶのしょう）／賀茂米穀卸（かもべいこくおろし）(株) 取締役

パネルディスカッションのテーマ：

「Afterコロナ、DX推進（DX業務支援）は
“ニアショア”時代？」

パネリスト：

グローバルベンチャー協会 理事長 上嶋茂様

PMI（プロジェクトマネジメント協会）日本支部 理事, SMC 藤井新吾様
技術士(総合技術管理), SMC 長野聡様

コーディネータ：

DXビジネス変革コミュニティ 竹井俊文

経済産業省「DXレポート2」

企業がDXの具体的なアクションを組織の成熟度ごとに設計できるように、DXを3つのステップに分解できる

- ① 「**デジタルイゼーション(Digitization)**」
従来のアナログデータをデジタル化すること
- ② 「**デジタルイゼーション(Digitalization)**」
個別のビジネスプロセスのみをデジタル化すること
- ③ 「**デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)**」
組織を横断した全体のビジネスプロセスのデジタル化、すなわちビジネスを変革すること